

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
飛騨市	古川小鷹利地区 (谷、信包、黒内、笹ヶ洞、 寺地、上野、中野、下野)	平成24年8月1日	令和3年3月18日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	241 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	234 h a
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	13 h a
i うち後継者のいない農業者の耕作面積の合計	4 h a
ii うち後継者のいる農業者の耕作面積の合計	9 h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	78 h a
(備考) ④の耕作面積は、古川地域全体の面積である。	

2 対象地区の課題

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害に困っている ・ 地域の高齢化に伴い農地を管理できない人が増えている ・ 若い人が農業だけでなく地域に関心がない ・ 草刈り作業が大変である <p>【中野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落営農組織の後継者不足
--

3 対象地区内における課題に対する取組

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どの地区も地域で農地保全をすでに取り組んでいる ・ 今後、改良組合のなかで草刈りや水見、悪条件の農地をどうすべきか検討していく <p>【寺地・笹ヶ洞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間直接支払制度、多面的機能支払制度の取組を熱心に行っており、今後も継続して行っていく ・ 今後地域を守っていくために農地保全や景観など関心をもってもらえるよう特に若い人たちに意識付けを行っていく ・ 現在水路管理、草刈りなど地域全体で対応しているが、水路等は生活用水としても必要なことから管理作業は今後も継続して地域で行っていくという認識を区の話合いの中で確認をしていく
--